

平成27年度 事後事務事業評価シート

事業名	情報発信事業	担当課・グループ	作成者（職・氏名）
		まちづくり推進課・企画調整グループ	主事 森田 綾

1 基本事項

事業区分	事業開始年度	平成24年度	事業主体	会計区分	予算科目			
	事業終了年度	平成37年度	町	一般	2	1	6	842
事業の性質	法令に基づかない自主的事業				条例等の有無		無	
根拠法令・例規 計画等								
総合計画	基本目標	いのち満ちる農（みのり）の里あつま 大いなる田園の町						
	大分類	自律協働のふるさとづくり						
	中分類	住民自治を推進する						
	小分類	地域経営…行政改革の推進と公私協働の確立、広域的連携の推進						

2 事業概要（Plan）

事業の目的	各種情報発信媒体を活用して情報発信を行い、本町の魅力を最大限に発信することにより、厚真町の知名度向上を図る。 また、町内外の方が求める情報をタイムリーかつきめ細やかに提供する。
事業の内容 （手段・方法等）	厚真町公式キャラクターを活用した厚真町PR事業 HP・SNS（Facebook等）を活用した情報発信 テレビ・新聞・ラジオ・雑誌によるメディア出演による情報発信
対 象	町内外すべての方
成果目標	厚真町の知名度向上を図る。 町民等が求める情報を適宜提供する。

3 実施結果（Do）

① 事業費

単位：千円

事業費の推移		24年度実績 <small>（評価対象前々年度）</small>	25年度実績 <small>（評価対象前年度）</small>	26年度実績 <small>（評価対象年度）</small>	27年度予算 <small>（評価実施年度）</small>	適 用
総事業費		4,480	6,602	7,483	4,240	
事業費		2,410	4,532	5,413	2,170	
特定財源	国・道支出金					
	町債					
	その他					
一般財源		2,410	4,532	5,413	2,170	
人件費（@4,000*時間数）		2,070	2,070	2,070	2,070	事務事業時間配分計算表（別紙）により算定
事業費の 主な内訳	旅 費	0	8	76	431	
	需用費	48	679	152	90	
	役務費	114	183	3,063	589	
	委託料	2,033	3,030	1,945	915	
	その他	215	632	177	145	

② 実績・成果

指標名称			25年度(実績) (評価対象前年度)		26年度(実績) (評価対象年度)		27年度(見込) (評価実施年度)		37年度 (目標年度)	
			数値	単位	数値	単位	数値	単位	数値	単位
主な活動指標	フェイスブック(FB)の年間更新回数	目標		回	500	回	500	回	500	回
		実績		回	732	回	122	回		回
		達成度		%	146	%	24	%		%
	※数値化できない活動内容や指標の変更等について記載する									
その他の活動内容については、別紙資料を参照										
主な成果指標	フェイスブック(FB)「いいね数」	目標	2,500	いいね	3,000	いいね	3,500	いいね	5,000	いいね
		実績	2,700	いいね	3,130	いいね	3,737	いいね		いいね
		達成度	108	%	104	%	108	%	0	%
	※数値化できない成果や指標の変更等について記載する									

4 事業の評価 (Check)

評価項目	評価の視点	評価結果	説明
妥当性	実施主体・目的・対象・手段等は公平かつ妥当か?	A	厚真町の魅力を伝えるためには情報発信は欠かせない事業である。
有効性	期待された成果が得られたか?	A	得られている。特にフェイスブックについては地方自治体の中で上位の「いいね数」となっており、期待以上の成果が得られていると判断。全道の地方自治体で市を除くと最も多い数である。
効率性	コスト面からみた費用対効果は適正か?	A	フェイスブックやHPなど費用対効果の高い情報発信ツールをメインに情報発信を行っている。

※評価結果は、A：妥当である B：概ね妥当である C：あまり妥当でない D：妥当でない で評価する

5 協働の領域 (Check)

協働の領域	民間の領域 ←-----→ 行政の領域		説明			
	民間等が主体的に行うべき領域	民間等の主体性のもとで行政が支援して行う領域		両者が互いの特性を活かし、協力して行う領域	行政の主体性のもとで民間が協力して行う領域	行政の責任と主体性により独自で行う領域
	A	B		C	D	E
現状					○	
将来				○		

6 今後の方向性・課題・改善点 (Action)

今後方向性	A	A 事業を拡大して継続 B 現状のまま継続 C 改善して継続 D 目標の達成・完了
説明		本町の知名度の向上を推進し、また、町民等が求める情報きめ細かくタイムリーに提供するためHPやSNSのほか、あらゆる情報発信媒体の活用を今後も検討するとともに、積極的な活用を図る。
課題		<ul style="list-style-type: none"> 情報発信を一部の職員のみが行っている。 FBについては、タイムリーかつ細やかな情報発信が行えているが、その他HP、ポータルサイトについては、一部古い情報が散見される。 公式キャラクターについても、キャラクターグッズ等、取組の幅を広げる必要がある
改善提案		<ul style="list-style-type: none"> 各課に「情報発信担当者」を配置し、庁内全体で情報発信の底上げに取り組む。 HP、ポータルサイトの内容を早急に整理し、常に新たな情報が発信できるよう、体制づくりを行う。 公式キャラクターの活用を幅を広げるため、観光担当部署や外部団体（観光協会等）との連携を強化する

7 評価 (内部評価)

判定	A	A 事業を拡大して継続 B 現状のまま継続 C 改善して継続 D 目標の達成・完了
意見		ホームページ内容を常に整理し、きめ細かくタイムリーに情報発信すべき。庁内の各部署との連携を蜜にし、各種事業と連動した情報発信を行うこと。

行政評価外部評価委員会事務事業評価結果

総合評価結果	A	A 事業を拡大して継続 B 現状のまま継続 C 改善して継続 D 目標の達成・完了
事業に対する意見		<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットを絞ってきめ細かくタイムリーな情報発信を行う必要がある。 ・ホームページは改善の余地がある。常に新鮮かつ細やかな情報を掲載する努力が必要。 ・庁内や町内の各団体など横の連携を強化し、情報発信を推進する必要がある。 ・役場だけではなく、町民や町に縁のある方にも町の宣伝してもらえるような方策を考えてみてはどうか。 ・町職員が外に出かけて直接PRすることは、その町の頑張りが目に見え大変効果的であり、積極的に取り組むべき。

評価結果に対する町の考え方

- 今後は、町の情報を必要としている人、町の魅力を最も伝えたい対象者をこれまで以上に意識して、タイムリーかつきめ細やかな情報発信を行います
- 町公式ホームページについては、総務省が示す「みんなの公共サイト運用モデル」に照らし、点検するとともに、不足及び不備なコンテンツについては、随時更新又は変更にします。また、管理担当課と各情報を提供しようとする担当課の役割に明確化し、利用者の声を把握、反映しながら情報提供に努めます。
- 町民の方にも、町の情報発信において積極的に関与していただき、町の魅力を域外へ推奨していただけるよう、町の「語れる魅力」の普及に努めます。
- 情報発信事業担当課の職員だけではなく、全職員が町の広報マンであることを再確認し、担当課と各課との定期的打合せ、職員研修を実施し、庁内職員全体の情報発信に対する意識啓発と技術向上等のスキルアップに努めます。